

《担当者名》志水 幸

【概 要】

この講義では、社会福祉学の基礎となる科目で、社会福祉の制度・政策に関する歴史や哲学・原理等について概説する。

【学習目標】

この講義の目的・ねらいは、以下のとおりである。

現代社会における社会福祉制度の意義や理念、社会福祉政策との関連について理解する。

社会福祉の原理をめぐる理論と哲学について理解する。

社会福祉政策におけるニーズと資源について理解する。

社会福祉政策の課題について理解する。

社会福祉政策の構成要素（社会福祉政策における政府、市場、家族、個人の役割を含む）について理解する。

相談援助活動と福祉政策との関連について理解する。

また、この講義の到達目標は、以下のとおりである。

基本的人権について、具体的に考えることができる。

社会福祉政策の意義について、自立生活支援との関連から具体的に考えることができる。

社会福祉政策と相談援助の関係性について、具体的に考えることができる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	オリエンテーション	授業計画の概要・自己学習の方法等 （講義、以下同様）	志水
2	現代社会における社会福祉制度と社会福祉政策	社会福祉制度の概念	志水
3	現代社会における社会福祉制度と社会福祉政策	社会福祉制度の理念	志水
4	現代社会における社会福祉制度と社会福祉政策	社会福祉政策と政治	志水
5	現代社会における社会福祉制度と社会福祉政策	社会福祉制度と社会福祉政策	志水
6	現代社会における社会福祉制度と社会福祉政策	社会福祉政策の主体と対象	志水
7	社会福祉の原理と哲学	人間の尊厳と自立生活支援、相談援助・介護における尊厳の保持と自立生活支援	志水
8	社会福祉の原理と哲学	社会福祉理論の系譜（政策論、技術論）	志水
9	社会福祉の原理と哲学	社会福祉理論の系譜（固有論）	志水
10	社会福祉の原理と哲学	社会福祉理論の系譜（運動論、経営論）	志水
11	社会福祉制度の発達過程	社会福祉の歴史類型	志水
12	社会福祉制度の発達過程	欧米の社会福祉の歴史	志水
13	社会福祉制度の発達過程	わが国の社会福祉の歴史	志水
14	社会福祉制度の発達過程	社会福祉政策と福祉レジーム	志水
15	前期のまとめ	前期授業の要点整理	志水

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
16	オリエンテーション	前期授業とのつながり、後期授業計画の概要	志水
17	社会福祉政策におけるニーズと資源	ニーズと資源の概念	志水
18	社会福祉政策におけるニーズと資源	社会福祉サービス供給システム	志水
19	社会福祉政策の課題	社会福祉政策と社会問題	志水
20	社会福祉政策の課題	社会福祉政策と現代的課題	志水
21	社会福祉政策の課題	社会福祉政策の国際比較	志水
22	社会福祉政策の構成要素	社会福祉政策における政府、市場、国民の役割	志水
23	社会福祉政策の構成要素	社会福祉政策の手法、政策決定過程、評価方法	志水
24	社会福祉政策の構成要素	供給過程と利用過程	志水
25	社会福祉政策の構成要素	社会福祉政策の論点	志水
26	社会福祉政策と関連政策	住宅政策、教育政策	志水
27	社会福祉政策と関連政策	労働政策、経済政策	志水
28	相談援助活動と社会福祉政策の関係	仕組みの担い手と専門職制（職業指導を含む）	志水
29	相談援助活動と社会福祉政策の関係	ソーシャルワークの社会的再編	志水
30	まとめ	後期授業のまとめ、授業全体のまとめ	志水

【評価方法】

定期試験により100%評価する。

【備考】

教科書：社会福祉士養成講座編集委員会編：現代社会と福祉（第4版）。中央法規，2014年。
国民の福祉と介護の動向2019～2020。厚生統計協会，2020年。
社会福祉小六法。ミネルヴァ書房，2020年。

参考書：日本社会福祉学会事典編集委員会編：社会福祉学事典。丸善出版，2014年。
その他、講義の際に適宜提示する。

その他：この科目は、社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための「現代社会と福祉」に該当する。また、介護福祉士国家試験受験資格取得のための領域「人間と社会」の教育内容「人間の理解」における「人間の尊厳と自立」に該当する。さらに、教職課程（福祉）では、教科に関する科目の「社会福祉学（職業指導を含む）」に該当する。

【学習の準備】

この科目は、2年次に同時開講される社会福祉系の専門教育科目と密接な関わりを持つものである。そこで、予め当該科目で学んだ知識を整理しつつ、この科目で学んだ知識と関連づけながら体系的に理解した上で講義に積極的に参加する学修習慣が肝要である。また、報道等で取り上げられる社会福祉・社会保障関連の政策動向に注目し、その問題について深く考えてみる姿勢を身につけることが大切である。

講義で提示する課題に関して、事前・事後学習（45分～90分程度）に取り組むこと

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP1,3,5